

令和元年度 維孝館学園クリエイト会議 第1回通学部会まとめ

1. 日 時 令和元年6月24日 19時30～20時35分

2. 場 所 宇治田原町総合文化センター 研修室3

3. 出席者 田川部会長 外 委員10名 事務局3名 計14名

4. 内容等

①平成30年度 小中一貫教育説明会における質疑・意見等について
資料を用いて事務局より説明。

②現在の通学距離イメージについて説明

学校の適正配置（適正通学範囲）4kmを直線的距離（円の半径）として考えた場合

田原小校区 4km圏外 なし

銘城台・東城台の西端 1.2～1.3km

山手線と旧宇治木屋線交差（南） 1.4km

上ノ山団地 1.7km

御栗栖神社 1.9km

宇治田原小校区 4km圏外 奥山田（茶屋村周辺のみ）

奥山田会館で3.5km 茶宗明神社2.3km内（バス通学）

禅定寺（お寺） 2km

緑苑坂てんじんやま公園 1.2km

立川糠塚地区～立川の奥（南側） 2km

○ほぼ2km圏内は徒歩通学

⇒2km圏 維孝館中学校を起点に考えて外れる地域

田原小校区 銘城台、東城台

南区の中屋や下湯川など

（魚定本店から山手線を囲む集落の内、南側3分の2くらいの地域）

宇治田原小校区 奥山田、湯屋谷、緑苑坂、禅定寺（建藤神社より北側）

③意見交流

- ・通学距離を検討する場合に円の半径（直線距離）を用いるのはそもそもどうなのか。
- ・企業の通勤手当なども実測だろう。その方がよいのでは。
- ・適正距離が4kmまでであるのは驚いた。距離の検討も大切だが安全対策がもっと重要。
- ・今後10年くらいを見据えた地域別の児童生徒数がわかる資料も欲しい。
- ・地価公示の資料のように基準となる特定の場所からの距離で示すとわかりやすいのでは。
- ・保護者は安全面を優先すると思う。中学生（自転車）は、307号歩道を通る。安全だ

からそうしている。小学生の徒歩ルートも集合場所から307号歩道へ出るところから検討してみてもどうか。

- ・説明会でもバス、徒歩それぞれを推奨する意見があった。小学生の場合は、安全対策等のインフラ整備をしていくことを前提に徒歩通学がまずは基本となる。現状より遠くなる方についてはバス通学を検討していく。
- ・町の総合計画とも関係するが、いわゆる「足の確保」の問題については、小中一貫の通学の問題だけでなく、少子高齢化の直面する問題も含めて検討していくことが大切。
- ・大字単位くらいで基本ルートのような通学路を考え、あとで集合場所などの枝葉へ広げていけばよい。
- ・とりあえずイメージをつかむために図面が必要。バスのシミュレーションもあれば。
- ・田原小校区では「やすらぎの道」使用も検討してみても。車の心配はないが、川が近い。
- ・両校児童が維孝館中学校へ移動する場合、現在も田原小は「やすらぎの道」を使う。ただし、高学年でも引率教員の体制はそれなりの数が必要。
- ・「やすらぎの道」を歩くとすると、今はまばらな柵の設置が全面的に必要。